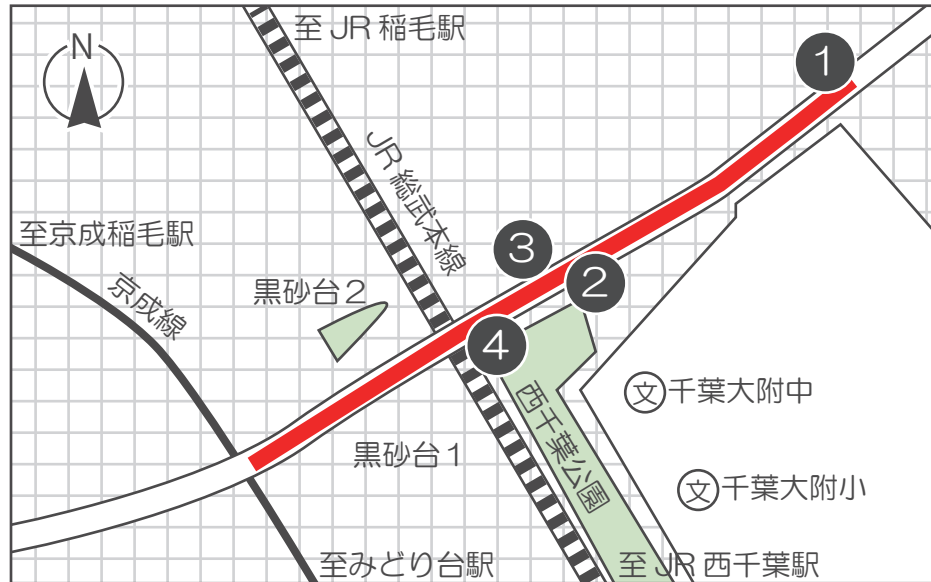


# 市内の街路樹ウォッチング<稲毛区>

2013年5月31日

新港横戸町線沿道（稲毛区黒砂台～黒砂地区）をウォッチングした。



## ①. 穴川地区のふたかけ緑地

花壇やデザインされた築山、養生中の芝生、ベンチ、公園の遊具など。洗練されているがありがたいの感がある



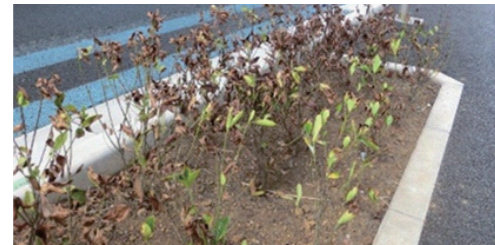
## ②. シャリンバイ・ヤマモモが

植栽された歩道

立ち枯れたヤマモモが補植されずにそのままになっていた

## ③. 黒砂台長ぐつ公園

足元には子どもたちが製作したモザイクタイルが埋められていて、とてもかわいい公園になっている



## ④. JR高架橋下のクチナシ

陽が当たらず、雨水も届かず街路樹には不適切な場所である。手入れをされた様子がなく、枯れている

## ④「新港横戸町線」とは？

1969年基本計画幅員20mの道路として都市計画決定されたが、1996年に幅員31m～52mで掘割構造に都市計画変更された。

このときの都市計画審議会委員だった市民ネットワークの代理人を中心に、この道路整備事業を「市民の参加と協働」で、環境対策や地域分断対策をたてて進めていこうという動きが起きた。

市民ネットワークが議会で、また「いなげのまちの道づくりの会」などの沿道地域の市民団体が市に粘り強く働きかけた結果、1999年に「道づくり全体協議会」（沿道の自治会代表者がメンバー）が発足し、掘割構造の道路に可能な限りふたをかけて緑地化することが2000年に決定した。

翌年、「みどりの帯づくり」を具体的に進めるために、緑化に関心のある沿道住民の参加で「緑化検討会」が立ち上がり、沿道のゾーン毎のテーマやイメージをまとめている。

全長2.6kmの本線は2010年8月に開通し、ふたかけと沿道・歩道部分の「緑の帯」整備は2017年までに終了する予定。